

ニュース

木村孟元地盤工学会会長名誉大英勲章 CBE 叙勲

滅多にない珍しいニュース・しかも喜ばしいニュースをお知らせします。木村孟名誉会員が「名誉大英勲章 CBE (Honorary Commander of the Most Excellent Order of the British Empire)」という大変な勲章を、平成16年6月10日に英国大使館大使公邸で執り行われた叙勲式でお受けになりました。

木村先生が以前に東京工業大学長・地盤工学会長をつとめられ、現在大学評価・学位授与機構長をなさっておられる地盤工学の泰斗であることは、会員諸兄ご承知のとおりです。弾性論・塑性論といった数理力学の分野で、他の追随を許さぬ高度な理論的業績をあげてこられた、純粋な理論家としての木村先生はよく知られております。大変な苦勞をしながら大規模な遠心載荷装置を手作りで造りあげられ、遠心模型実験による地盤工学の研究に力を注がれた実験家としての木村先生も、それと同時に有名です。理論・実験両面において、奥の深さ・視野の広さともにケタ外れなスケールをもつ木村先生のご研究は、軟弱地盤と構造物の相互作用を究明するという一本の筋金に貫かれているように見えます。

碩学という形容がピッタリの木村先生ですが、今回の叙勲理由に地盤工学上のご功績は（陽な形では）含まれておりません。大英勲章 (The Most Excellent Order of the British Empire) は、各種分野で公共奉仕に尽くした人々に対して贈られるもので、英国との関係発展への顕著な貢献をされた英国人以外の人々への叙勲の荣誉が、「名誉勲章」だとされているようです。厳肅な雰囲気での叙勲式で読み上げられた「名誉大英勲章 CBE 叙勲の辞 (Citation)」によれば、高等教育における日英協力の促進に傑出した役割を果たされた木村先生に対する英国の感謝と敬意の印であるとのこと。「日英高等教育に関する協力プログラム」の公開セミナー・公開フォーラム・スタディービジットを、木村先生が継続的かつ組織的に開催してこられたことに対する評価が叙勲につながったと理解できます。

スコットランドのストラスクライド大学およびイングランドのケンブリッジ大学で、木村先生が研究生活を送られ、オックスフォード大学とも個人的な強い関係を築いておられることは、周知の事実です。木村先生がスコットランド発祥といわれるゴルフに関して傑出した技術と情熱をお持ちであることと、ずば抜けた英語の能力をお持ちであることも、知らない人はいないぐらいでありましょう。こういう背景がなければ、Higher Education Funding Council for England など英国の機関や公的なエージェンシーとの間で、一連の交流を開始することなどできなかったのだらうと思われまます。

皇居の半蔵門に相対する英国大使館のなかの大使公邸で、平成16年6月10日夕方5時半から執り行われた叙



写真一 英国大使館大使公邸で執り行われた名誉大英勲章 CBE 叙勲式での、駐日英国大使 Sir Stephen Gomersall (サー スティーブン ゴマソール) 閣下ご夫婦と受勲者木村孟先生ご夫婦 (写真提供: 英国大使館)

勲式の様子は、英国大使館ニュース UK NOW (www.uknow.or.jp) に掲載されていますが、実に厳かなものでありました。駐日英国大使 (Her Britannic Majesty's Ambassador in Japan) の Sir Stephen Gomersall (サー スティーブン ゴマソール) が、サーベルを着けたきらびやかな服装で登場され、叙勲の辞が日英両国語で読み上げられた後に、木村先生に勲章をお与えになりました。大使閣下は長身・白髪、威厳ある中に親しみ深い雰囲気をお持ちの方で、とても穏やかなご表情でした。このあと木村先生が日英両国語で謝辞をお述べになりましたが、内容豊富にして形式が整った実に見事な謝辞でした。とても並の人間がこなせるワザではない、と私のような参列者は感じ入った次第でありました。

叙勲式に続いてカクテル・レセプションがあり、簡単な食べ物と美味しいお酒を頂戴しました。大使公邸のお庭にも出させていただいて、私のような参列者は別世界の風情を楽しませていただきました。大使ご夫妻と木村先生ご夫妻が写っていらっしゃる写真 (英国大使館のご好意による) をご覧いただき、その場の雰囲気をご想像ください。

名誉大英勲章 CBE は英国人に与えられた勲章と同じく、受勲者はその称号を使用することができると同時に、名前の後ろに勲章の頭文字をアルファベットで記すことが許されているとのこと。また受勲者の功績に敬意を表するための場所が、ロンドンのセントポール大聖堂にちゃんと設けられているそうです。最後になりましたが、木村先生のますますのご活躍を祈って、「木村先生受勲のお知らせ」を終わらせていただきます。

(文責: 太田秀樹 東京工業大学)